

1. 9/26 (日) 9:00-12:00

講 師：札幌まるやま自然学校
木育マイスター 高野克也
場 所：藻南公園
参 加 者：子ども3名、大人3名
OJT 受 講 者：小池 透矢
内 容：幼児と保護者向けプログラム
参加者と一緒に散策や自然遊び



2. 10/2 (土) 8:30~17:00

講 師：木育マイスター 島田 裕也
場 所：支笏ガイドハウスかのあ
参 加 者：子ども27名
OJT 受 講 者：笠井 なつみ
内 容：森のめぐみでジャム作りや
草木染め体験



3. 10/10 (日) 10:00~12:00

講 師：木育マイスター 上野 まゆみ
場 所：ノンノの森
参 加 者：子ども10名、大人10名
OJT 受 講 者：笠井 なつみ、櫻田 理愛
内 容：落ち葉や枯れ枝拾い、風倒木を集めて
森のお掃除



4. 10/10 (日) 8:30~15:30

講 師：札幌まるやま自然学校
木育マイスター 高野克也
場 所：札幌市北区福移
参 加 者：子ども6名、大人8名
OJT 受 講 者：岸田 直樹
内 容：畑で果実の収穫、たき火などをして子
どもが自由に遊ぶ時間をサポート



5. 10/16 (土) 9:00~16:00

講師：木育マイスター 鈴木 正樹

場所：株式会社ハルキ

参加者：高校生4名、大人8名

OJT受講者：村井 エリカ

内容：高校生が林業・林産物を体験し、
ノベルティをデザインする



6. 10/16 (土) 10:00~15:00

講師：木育マイスター 道場 祥子

写真絵本作家 小寺 卓也

場所：札幌市西区

参加者：子ども11人、大人9人

OJT受講者：櫻田 理愛

内容：自然写真絵本作家と一緒に写真撮影と
絵本づくり



7. 10/17 (日) 8:15~15:30

講師：木育マイスター 崎川 哲一

場所：栗山町旧桜山自然の家

参加者：大人9名

OJT受講者：名内 隆

内容：町民向け薪割り体験指導



8. 10/17 (日) 10:00~15:00

講師：木育マイスター 日月 伸

場所：帯広の森 はぐくむ

参加者：子ども30人、大人20人

OJT受講者：佐藤 菜摘、田川 薫

内容：森づくりに関するコンテンツをそろえた
体験型のイベント

「馬といっしょに森づくり」



9. 10/19 (火) 10:00~12:00

講 師：木育マイスター 村山 恵一郎
場 所：枝幸町立枝幸保育所
参 加 者：子ども8名、大人8名
OJT 受講者：佐藤 菜摘、下村 章浩、杉山 真子、
村井 エリカ
内 容：親子20組を対象に木目のメッセージボードの
製作体験を行う。



10. 10/23 (土) 8:20~12:00

講 師：札幌まるやま自然学校
木育マイスター 高野 克也
場 所：藻南公園
参 加 者：子ども20名、大人10名
OJT 受講者：日下部 淳子、小池 透矢
内 容：落ち葉や木のみを使ったアクティビティ
や、簡単クラフト(ペンスタンド)などの
制作指導



11. 10/23(土) 8:30~15:00

講 師：木育マイスター 萩原 寛暢、
柴田 智幸、高橋 秀明、酒巻 美子
場 所：RECAMP 摩周
参 加 者：子ども16名
OJT 受講者：國井 葵
内 容：「弟子屈町主催の森林体験教室」焼き火屋さん、木の
カスタネット作り、アロマスプレー作り、ブンブン
こま作りなど様々なブースのサポート



12. 10/24 (日) 8:20~16:00

講師：木育マイスター 道場 祥子
場所：ちいさなはっぱちいさなき自然あそび広場
参加者：子ども14名、大人13名
OJT受講者：土屋 穂乃佳、Bechtol 詩音
内容：秋の植物（ブドウ or 栗）の収穫と
染め物体験と自然あそび



13. 10/24 (日) 8:20~16:00

講師：木育マイスター 崎川 哲一
場所：栗山町旧桜山自然の家
参加者：大人15名
OJT受講者：名内 隆
内容：町民向け薪割り体験指導



14. 11/13 (土) 7:30~11:30

講師：木育マイスター 鈴木 正樹
場所：森町公民館
参加者：子ども14名、大人14名
OJT受講者：笠井 なつみ、岸田 直樹、
佐藤 ふたみ、村井 エリカ
内容：木育ワークショップ 図工イス作り



15. 12/18 (土) 9:15~12:00

講師：木育マイスター 大石 拓人
場所：帯広の森 はぐく一む
参加者：子ども10名、大人20名
OJT受講者：村井 エリカ
内容：お正月用の小さな門松づくり



■フォローアップ研修 令和3年 11月6日-11月7日

◆1日目 (11/6) 苫小牧市 イコロの森 受講者数：13名

13:00 開会式

13:30 フィールドワーク～ガイドウォーク@イコロの森
(北ノ森自然伝習所 三木昇)

三木氏の案内のもと実際に森に出て、プロの自然ガイドの技術を学んだ。知識を話すだけではなく、その場の状況や雰囲気、参加者の質問などから興味を察知して臨機応変に説明の仕方や説明の対象物を変化させるなど、常に参加者が主体となるガイドスキルを披露いただいた。



16:00 ゲストスピーカーによる講演～木育ひとものがたり～
(北ノ森自然伝習所 三木昇)

三木氏の活動の根幹にあるもの、大切にしていることについてスライドを見ながらご紹介いただいた。太古の昔から続く自然と人との関わり、自然の在り方、環境への考え方などをお話しされ、学術的な部分についてもユーモアを交えながらわかりやすく解説いただいた。



17:00 終了

◆2日目 (11/7) 苫小牧市 イコロの森 受講者数：14名

9:00 事例発表

1. 自分のフィールド買いました！

(ちいさなはっぱちいさなき 道場祥子)

フィールドを購入するまでの経緯やどのようにフィールドを探し、購入したのかなどをお話しいただいた。自分のフィールドを持つことで、多様な活動ができるようになったこと、やりたいことを実現しやすくなったことなど現在の活動内容についてご紹介いただいた。



2. コミュニティフォレストリー

(苫東和みの森 八木一馬)

苫東和みの森の特徴である①森のコミュニティセンターとしての役割、②多様なボランティアによる管理③北海道的里山についてご紹介いただいた。最後に木育マイスター同士の繋がりの大切さ、活動の展開などについてもお話しいただいた。



3. 異業種への展開

(合同会社森のピタゴラス 崎川哲一)

木の玩具（森のピタゴラス）の制作・販売事業から児童デイサービスの施設の開設に至るまでをお話しいただいた。木育を通して様々な分野の業種と繋がりが持てること、新規参入のツールに木育がキーワードになったことなど崎川氏の経験談は参加者からの興味も非常に大きかった。



11:30 木育マイスタースキルアップ講座～森や木を中心においてコミュニティづくり～

(合同会社 machi cen 宮本英樹)

森の過ごし方のツールの一つとして「テントサウナ」を例に、コミュニティづくりについてご紹介いただいた。木育マイスターはコーディネーターであり、異なるものを掛け合わせて新しいものを作ることを考えていくことが大切であることを学んだ。



12:30 昼食

13:30 木育マッチングタイム

現在の活動内容について一人ずつ自己紹介を行い、情報や課題の共有、課題解決に向けた提案などを行った。その後、道場氏が行っているワークショップを実施し、葉っぱや和紙、絵具などを使った木のオーナメント作りを体験し、参加者それぞれ個性豊かな作品が仕上がった。



15:00 修了式

●まとめ

・受講人数について

令和3年度木育マイスター育成研修は、COVID-19感染拡大防止の観点から、定員を昨年同様10名に設定したが、約5倍の53名の申し込みがあったため、急遽定員を増やし、抽選で15名に絞り受講者を決定した。15名が全てのカリキュラムに参加し、全受講生が研修カリキュラムを修了した。

令和3年度木育マイスターフォローアップ研修については、育成研修同様、定員数を昨年より減らし15名に設定した。16名の申し込みがあったが、申込の時点で、どちらか1日のみの参加を希望する参加者もあり、申込された全員の受講を承認することとした。実際に研修に参加された人数は、研修1日目のみが2名、2日目のみが3名、2日間全てのカリキュラムに参加されたのが11名であった。

・会場について

令和3年度木育マイスター育成研修及びフォローアップ研修について、今年度は札幌近郊の苫小牧市で実施した。全道各地から参加しやすいよう、道央地域での開催としたが、イコロの森内の研修会場は国道から入り組んだ道を進んだ先にあるため、一部の受講生からは場所がわかりづらかったとの声もあった。研修施設及び周辺環境については高評価であった。

・研修時期について

今年度はCOVID-19感染拡大のため、当初予定していた時期を延期し、秋と冬（第1回目が10月末、第2回目が1月中旬）に実施した。OJTの日程については変更を行わず、研修前の実施となった。例年は1回目と2回目の間（9月上旬～10月下旬）に行い、OJTで経験したことを第2回目研修で活かせるようにすることで、第2回目研修の際に受講生の理解がより深まるよう設定している。フォローアップ研修は、例年どおり11月初めの開催となった。

・カリキュラム・スケジュールについて

研修終了後に受講生から取ったアンケートによると、カリキュラムについては概ね満足を得られている。講座の時間もちょうどいいと答えている方が多く見受けられた。今年度は、COVID-19感染防止対策の換気のため休憩時間を例年よりも多くとったため、4日間の研修時間が長くなったが、事前に終了時間が延長する可能性があることを案内していたので受講生からは特に指摘はなかった。

・今後の木育について

木育マイスター育成研修は平成22年(2009年)度から実施されているが、2009年～2020年度の11期で合計284名の木育マイスターが誕生した。今年度、新たに15名のマイスターが加わり、合計299名となる。

木育マイスター1～11期生は、木育マイスターメーリングリスト内で情報交換、意見交換などを行い、交流が進んでいる。また、今年度研修のOJTの受入先となってもらい、各人の地域・会社などで木育プログラムを行ったり、各地域のマイスターが集まって木育フェスタを実施したりと、それぞれの地域・立場で活躍中である。今年度の12期生も先輩マイスターに続き、活躍が期待される。

今年度の木育マイスター育成研修では 53 名の申し込みがあり、年々受講希望者は増加傾向にあり、この研修の受講希望者はまだまだいると思われる。また、応募の際のレポートには皆、木育にかける思い、やりたいことが記載されている。

また、令和元年度より、北海道が認定した「木育マイスター」を対象としたフォローアップ研修を開催している。今年度は、募集の結果 16 名を受講生として案内し、11 名のマイスターが 2 日間にわたる全カリキュラムを修了した。各参加者とも、今後の木育マイスターとしての活動を円滑に進めるために、精力的に研修を受講していた姿が印象的であった。また、マイスター同士の交流も深まり、同期以外のマイスターとも活動を共にしていけるネットワークが構築されたと思われる。

最後に、今後も北海道の木育の普及を推進していくためには、この 12 年間の研修で誕生した木育マイスター同士のネットワークをより強固なものとし、協力しあって木育の普及に取り組んでいくことが必要である。北海道の木育を進めていくためにも、本研修は継続して行われる必要があり、より多くの方に機会と場が提供されるべきと考える。

以 上